

令和6年度以降の事業計画の方向性について

これまでの美術館事業

専門的な芸術作品の展覧会

【代表的な事業】

「描かれた女たち 女性像にみるフォルム／現実／夢」(令和4年度)

「ひろしま美術館コレクション日本近代洋画の名作展」「山下清展」(令和5年度予定)

地域ゆかりの作家や館蔵品等の展覧会

【代表的な事業】

「あかがねアート・クロッシング ‘home’」(令和4年度)

「新居浜の美術 コレクション展示」(令和4・5年度)

子どもたちを対象とした展覧会

【代表的な事業】

「おひるねびじゅつかん」「五味太郎作品展 絵本の時間3」(令和4年度)

「tupera tuperaの かおてん」(令和5年度)

住友関連の展覧会

【代表的な事業】

「新居浜一日本」展(平成27年度)、「至高の中国古銅器展」(平成30年度)

その他、指定管理者との連携事業として「木梨憲武展」「片岡鶴太郎展」など、集客が見込める展覧会を開催し、駅前開発のコンセプトである「駅前の賑わいづくりの拠点施設」としての役割を果たしてきた。

今後の事業案

- 天井が高く、非常に贅沢な構造となっている美術館施設自体の魅力・特徴を生かせるような、大型の立体作品の展覧会
- 泉屋博古館の協力をいただいた住友関係の展覧会
- 著名キャラクターによる集客力ある展覧会
(その他)
- 令和7年度に開館10周年を迎えるため、その目玉となる事業が求められている